

## 高崎高等学校アメリカ研修 報告書（1日目）

うだるような暑さの中、たくさんの保護者の皆様に見送られ、アメリカ研修参加生を乗せたバスは定刻で出発しました。団長の丸山副校長先生からは「身は安全に、しかし心は傷付くことも恐れずに」と激励を受けて始まったアメリカ研修。果たしてこれからどんなドラマが待っているのか、まだ知る由もありませんが生徒達はまだ見ぬアメリカに向けはやる気持ちを抑えられない様子でした。

成田空港には順調に到着し、多くの生徒が初めてのセルフチェックイン、セキュリティ検査、出国審査を通過すると、搭乗時間の約1時間前には出発ゲートまでたどり着くことができました。今回、高崎高校アメリカ研修チームは、デルタ航空が主催するスカイウィッシュチャリティプログラムに参加し、搭乗分のマイルを慈善事業に寄付することになります。その特典として、代表1名が搭乗ゲートで搭乗アナウンスをするというインターンシップの権利をいただきました！代表の富澤君は緊張した面持ちでゲートの中へ。高崎高校の仲間たちと、大勢の一般のお客様の目もある中でアナウンスがスタートすると、英語、日本語共にあまりにも「それらしい」ことに一同驚かされました。アナウンスが終わると周囲のお客様からも大きな拍手をいただき、わずかな時間ながら航空会社へのインターンシップは大成功でした。アナウンスの前にはコックピットに入り、パイロットの皆さんと一緒に写真を撮らせていただくなど、大変貴重な体験となりました。

経由地のデトロイトまでは約12時間弱の長旅でしたが、生徒達は特段疲れた様子も無く、無事にアメリカへの入国も済ませました。ここまでは万事スムーズでしたが、電光掲示板でボストンへ向かう乗継便の情報を生徒達が自分で確認すると、2時間の遅延が発生していました。そのため、デトロイト空港では思わぬ丸々2時間ほどのフリータイムが生まれましたが、生徒達は広い空港を方々探検し楽しんでいました。

ボストンへの到着は予定よりも遅くなりましたが、迎いの専用バスに乗ってボストン大学に到着すると、これからお世話になる語学学校のスタッフ Jane たちが笑顔で迎えてくれました。用意された夜食の大きなピザを頬張りながら、当然ながら全て英語の簡単な入寮オリエンテーションを受け、今日は各自部屋へと入り休むこととなりました。

明日からは早速プレースメントテストがあり、各国からの留学生とのアクティビティも始まります。今日、たくさんの時間があつたデトロイトの空港で「新たな出会いはあつたか？」の問いかけに対する答えはまばらでした。英語で買い物をする、異文化に触れる、高崎高校のアメリカ研修はそれだけで終わるものではありません。目まぐるしく変化するこのグローバル社会の先頭に立ち、世界を牽引するリーダーたる高崎高校生を目指すことが研修の本旨であり、それを実現するためには1分1秒を無駄にしない気概でこの12日間に臨む必要があります。

丸1日以上移動に費やした研修1日目の中でも、取り組むべきたくさんの課題が出てきました。注意力、チームワーク、緊張感、リーダーシップ、当事者意識、積極性。全員が主体的にこの研修に関わり、今日時点では想像もつかなかったような成果を、日本に持ち帰って欲しいと思います。以上、研修1日目の報告と致します。



成田空港のチェックインで、高崎高校専用レーン！（スカイウィッシュ参加のため）



成田空港で、出国前に記念撮影



搭乗ゲートや時間などのステータスは自分で確認します



富澤君がデルタ航空にインターン体験！（スカイウィッシュ参加のため）



混み合うゲート付近で、たくさんのお客様に向け搭乗アナウンスを行いました



何と、記念にコックピットにもお邪魔させていただきました



元気にボストンまで到着しました



ピザを片手に入寮のオリエンテーション